

JAZZ

19世紀末～20世紀初頭・・・・ジャズ発祥の地、ルイジアナ州ニューオリンズ（黒人、白人が混在する港町）
JAZZ（ヨーロッパの伝統音楽+ブルース、ゴスペル、アフリカの伝統音楽）

1920年代・・・ルイ・アームストロング 黄金時代

シカゴジャズ（白人ジャズ）

1930年代・・・大恐慌の時代

スウィング ジャズ（ダンスホールを拠点）

ベニー・グッドマン

デューク・エリントン

カウントベイシー

1940年代・・・ビバップ誕生（黒人による前衛音楽）

（ハーレムのジャズクラブ「ミントンズ・ブレイハウス」でジャムセッションから始まったニュースタイル

チャーリーバーカー

ディジーガレスピー

クールジャズ（ビバップをもとにした理知的な印象）

マイルス・デイビス

1950年代・・・ハードバップ（アメリカ東海岸）

アート・ブレイキー

ハンクモブレー

ウエストコーストジャズ（西海岸）

チェット・ベイカー

1960年代・・・フリージャズそしてエレクトリックへ

オーネット・コールマン

マイルス・デイビス（エレクトリックマイルス）

DRUM・・・基本的にスイングさせる。

BASS・・・ウォーキングベース

The musical score consists of three staves of bass clef music. The first staff starts with a rest, followed by notes corresponding to the chords Am9, D13, G9, CΔ7, Am9, and F9. The second staff continues with G9, CΔ7, Am9, F9. The third staff concludes with E#9, Eb9, and Am9.

NEXT

BACK